

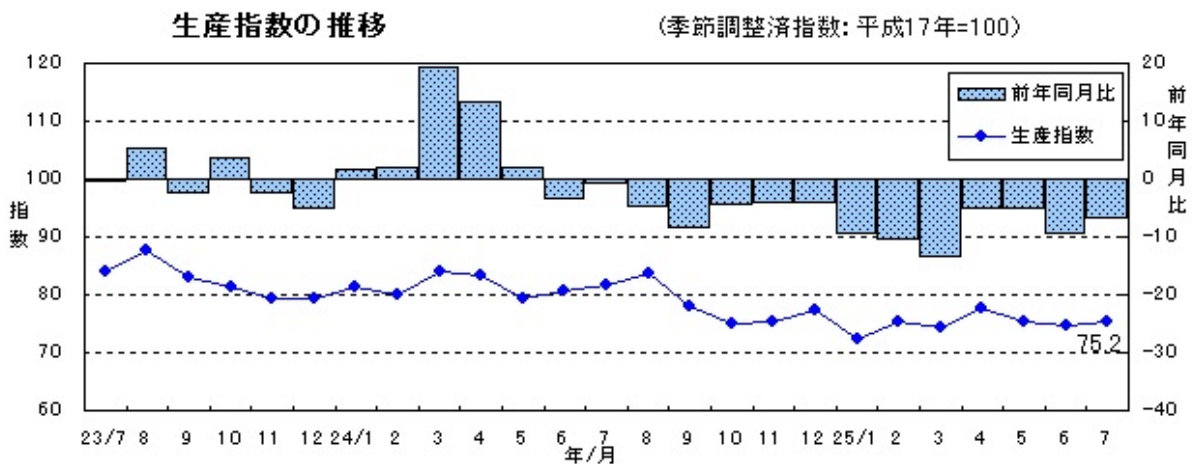
静岡県鉱工業指数 (平成25年7月分速報)

1 生産指数の動き

7月の鉱工業生産指数（季節調整済：平成17年=100）は**75.2**となり、**前月比は0.8%増**と3か月ぶりに上昇した。

また、**前年同月比（原指数）は6.5%減**と14か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、輸送機械、一般機械等が上昇する一方、食料品・たばこ、化学、ゴム製品等が低下した。

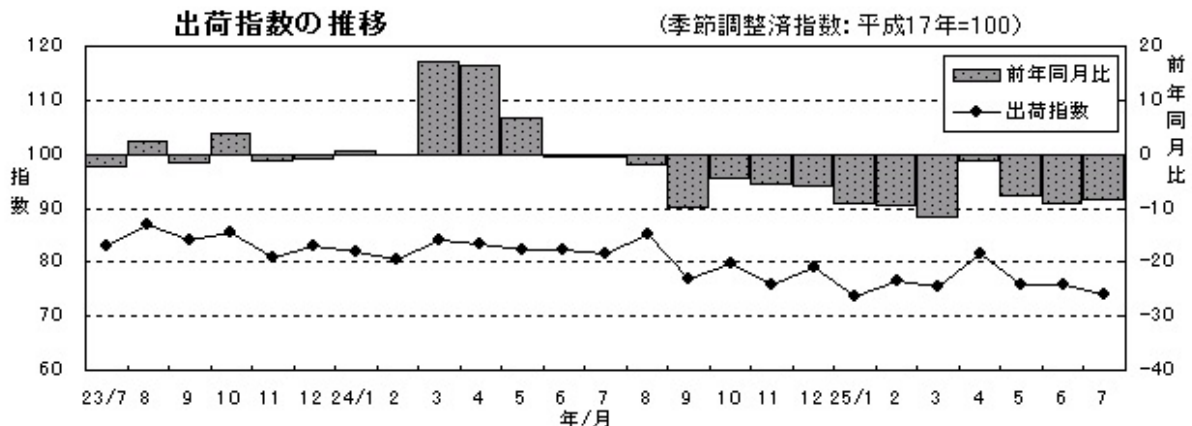


2 出荷指数の動き

7月の鉱工業出荷指数（季節調整済：平成17年=100）は**73.9**となり、**前月比は2.4%減**と3か月連続して低下した。

また、**前年同月比（原指数）は8.3%減**と14か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比（季節調整済指数）では、輸送機械、精密機械、その他製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、一般機械、非鉄金属等が低下した。

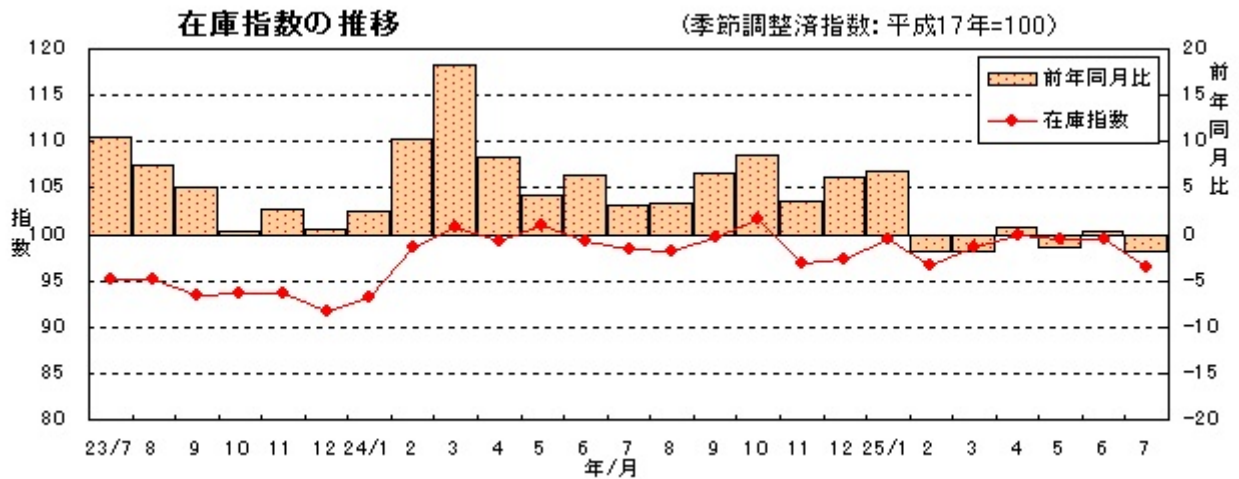


3 在庫指数の動き

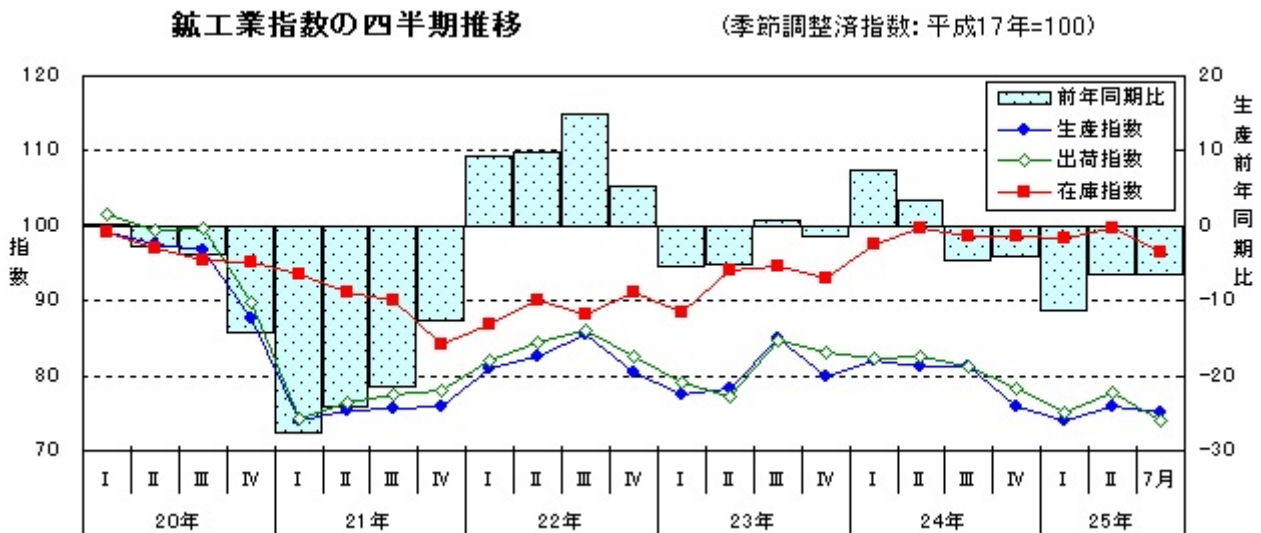
7月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成17年=100）は**96.4**となり、**前月比は3.1%減と2か月ぶりに低下した。**

また、**前年同月比（原指数）は1.9%減と2か月ぶりに前年を下回った。**

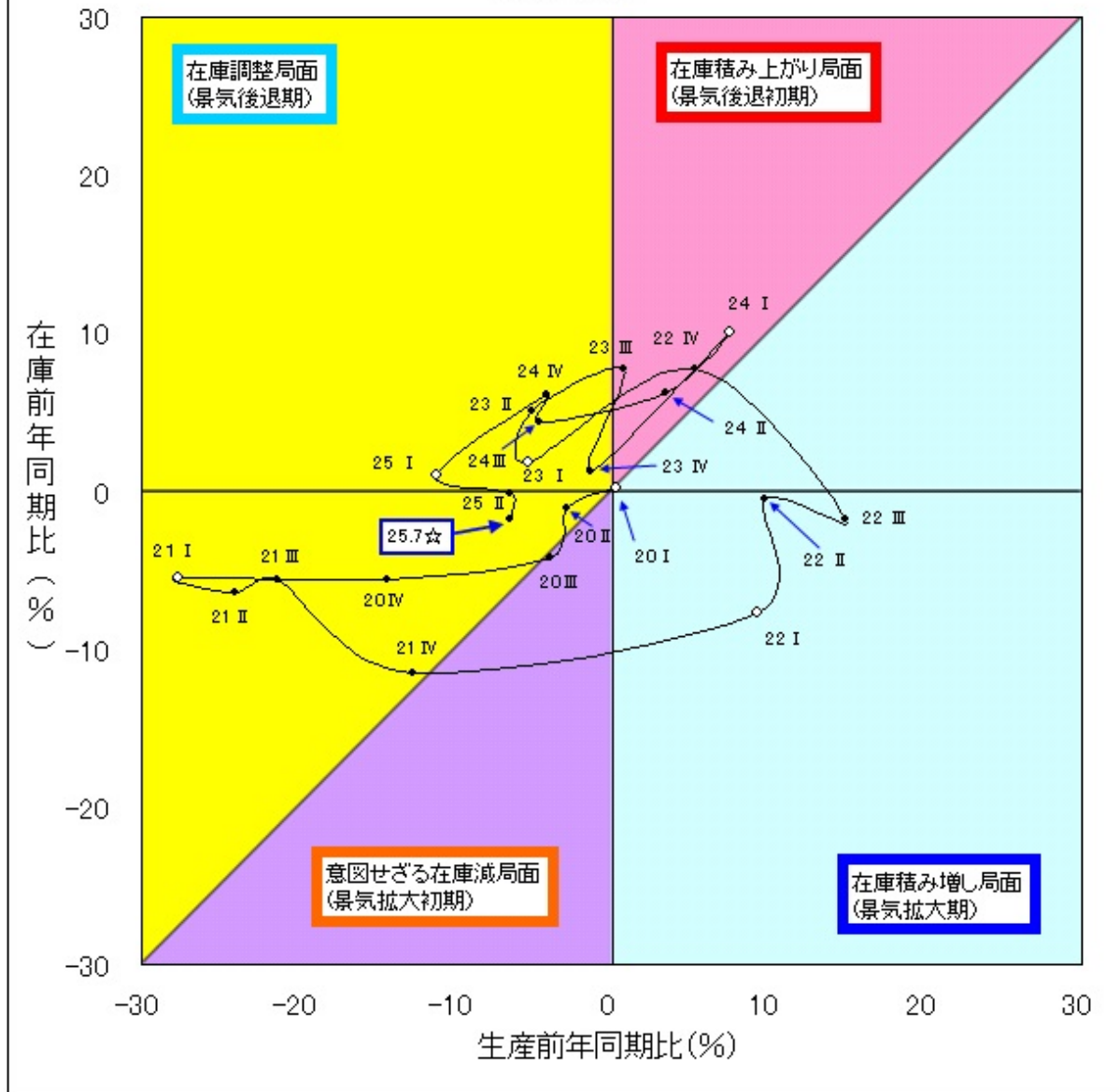
業種別の前月比（季節調整済指数）では、電気機械、輸送機械、ゴム製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、パルプ・紙・紙加工品、その他製品等が低下した。



<参考1> 四半期推移及び在庫循環図



在庫循環図



- 在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
 需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- 在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
 供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今月はここに該当**
 適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- 意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
 需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。